



岡山大学記者クラブ 御中

令和3年12月16日

岡山大学

妊産婦の自殺や子どもの虐待を防ぐために
「母と子のメンタルヘルスケア研修会」入門編
「産後うつ等の早期発見・対応に向けて」を開催

◆発表のポイント

- ・妊娠中から切れ目なくハイリスク妊産婦の支援を始める「岡山モデル」も今年で10年となり、岡山県では虐待通告・相談事例の件数は減少傾向となっています。
- ・このような支援スタッフの増加を期待して、日本産婦人科医会が全国展開している「母と子のメンタルヘルスケア研修会」入門編を開催します。
- ・岡山県産婦人科医会理事が、岡山モデルのコンセプト、新型コロナウイルス感染拡大と妊産婦のうつや不安の解説、また、精神科の専門医が支援方法を解説、ともに模擬ケースを検討します。

2011年から始まった社会的ハイリスク妊産婦への支援システム「岡山モデル」も今年で10年となりました。妊娠中から切れ目なくハイリスク妊産婦の支援を始めることで、岡山県では、全国的に見られる虐待通告・相談事例の件数の増加とは反対に減少傾向となっています。妊産婦の自殺や子どもの虐待を防ぐためには、社会的ハイリスク妊産婦への支援を行う医療・保健・福祉機関など多くのスタッフが必要です。

メンタルヘルスの課題を持つ妊産婦や子育て中の母親への支援を連携して行うことができるスタッフが増えることを期待して、「母と子のメンタルヘルスケア研修会」入門編を開催します。研修会では、岡山県産婦人科医会理事が、岡山モデルのコンセプト、また、新型コロナウイルス感染拡大とともに広がる妊産婦のうつや不安のデータを解説します。また、母子のメンタルヘルスに詳しい精神科医が、出産後の「エジンバラ産後うつ病質問票」など3つの質問紙を使用した支援の方法などを解説し、模擬ケースを検討する研修を実施します。

妊産婦の医療とケアに携わるすべての医療・行政スタッフにご参加いただき、妊産婦のメンタルヘルスの基本的な知識や対応を学び、実際の現場での重層的な支援が広がることを目標としています。

また、本研修会は助産実践能力習熟段階（クリニカル ラダー）レベルⅢ認証制度における申請要件となる研修として承認されます。アドバンス助産師の方々は奮ってご参加ください。

1. 名 称 : 「母と子のメンタルヘルスケア研修会」 入門編
産後うつ等の早期発見・対応に向けて
2. 日 時 : 2022年2月11日（金・祝）13:00～17:00（オンライン開催）
3. 対 象 者 : 産科・精神科・小児科医療機関の医師、助産師、看護師、保健師、
精神保健福祉士等の医療従事者および保健福祉行政職員、医療系学生、



PRESS RELEASE

その他、妊産婦や子育て中の母親への支援の関係者を対象

4. 申込方法 : 母と子のメンタルヘルスケア (MCMC) サイト <https://mcmc.jaog.or.jp/>
よりお申し込みください。※締め切り: 2月6日(日)まで
5. 参加費用 : 6000円(事前の e-Learning 受講、受講修了証発行、研修会費用として)

<お問い合わせ>

岡山大学 大学院保健学研究科

教授 中塚 幹也

(電話番号) 086-235-6538

(FAX番号) 086-235-6538



岡山大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。